

お わ り に

副校長 原 田 新 也

少々、手前みそになりますが、本校の先生方は、「かかわり合いの豊かな子どもをめざして」という研究テーマのもとで、4年間にわたって、日夜といわず深夜まで、非常に熱心な研究を続けてまいりました。その情熱と苦勞に対し、敬意を表したいと思います。

論語の中に、孔子が人のあるべき姿について、「詩ニ興リ、礼ニ立チ、楽ニ成ル。」と述べているところがあります。

感動的な意欲をまずおこし、ひとつの規範・ルールにかかわって、調和のとれた豊かな人間になれるという意味だと思います。この研究誌をひもとくたびに、私は孔子のことばを思い出すことでしょう。

一昨日は、明希子さんが、転んだ男の子の鼻水をふいてていました。昨日は、秀次郎君が、先生と友達の名前をほとんど全部教えてくれました。そして、今日は、毅君が、下校の時、「みなさん、先生にあいさつしてください」と呼びかけ、「先生は、威張っていいんですよ」と笑わせました。

多少の発達の遅れはあっても、純粋な心を持つ子どもたちに、私どもの、教育へのイッダマシ(魂)が、このように^くしみわたっていくことを、心から願わずには、いられません。

御指導いただいた方々

鹿児島県教育委員会	大茂夫二男	池水浩三郎	救仁郷 勝	の各先生
県総合教育センター	上村 伸雄	岩本 重弘	の各先生	
鹿児島大学教育学部	清原 浩	内田 芳夫	大坪 治彦	山中 寛 の各先生

研 究 同 人

木佐貫 哲	〔中 学 部〕	○堂 免 良 久
原 田 新 也	出 来 喬	北 園 博 之
永 江 武 紀	○別 府 和 幸	◎岩 本 伸 一
〔小 学 部〕	宮 内 英 光	帖 佐 千 江
福 田 孝 志	濱 島 直	古 川 伸 子
迫 武 仁	○五反田 勝	上 原 大 樹
○前 岡 昌 利	山 下 みずほ	永 田 吉 寿
○山 口 敏 親	谷 口 正 治	〔 転 出 〕
中 村 豊 隆	谷 村 真由美	白 石 民 夫 (吉田南中)
牧 野 朋 子	〔高 等 部〕	稲 田 明 弘 (指宿養護)
上國科 里 美	前 田 房 雄	今 村 ひとみ (鹿児島養護)
松 山 昭 代	川 畑 朝 一	竹 宮 一 恵 (中洲小)

○は公開研究部

研究紀要 第7集

かかわり合いの豊かな子どもをめざして

編 集 鹿児島大学教育学部附属養護学校

印刷所 日本高速印刷株式会社
鹿児島市南林寺町25 - 10

電話 26 - 0128 (代)
